



並木中等story

令和3年3月19日号

弱い者いじめの心理学

私は小中学校の時に友達をいじめたこともありますし、逆にいじめられたこともあります。心理学を学んだ後に、当時を振り返ると、“いじめをした時は自分に自信がなかった時”と思えます。自分に自信がないのに、偉く見せたいと思い、友達の悪口を言っていたと思います。いじめをする人は強い人でも、自信がある人でもない。自分を何とかしようとして、もがいている人のような気がします。心が強く、自信があれば、そのようなことは必要ないのです。

いじめをしてしまう人に質問です。「何におびえてるの?」「何が恐いの?」「何が不安なの?」そっと、心の中で考えてください。それが見えてくると、あなたは一つ成長します。



そして、人を蔑むようなことは必要のないことであることが分かってきます。

いじめを受けた人に一言。いじめを受けるのは“そこにいたから”といった偶然に起こることもあります。嫌だったことは、先生、友達、保護者、誰かに「嫌なことを受けた。いじめを受けた。」と訴えてください。そのまま我慢するのではなく、明らかにすることが大切です。これがお互いのためになるのです。

祝《令和2年度「茨城県よい歯の学校」 茨城県教育委員会教育長賞を受賞》

令和2年度「茨城県よい歯の学校」の表彰で本校後期課程が教育委員会教育長賞を受賞しました。高校の部では県3校が選ばれる最高の賞になります。

おめでとうございます。